

## 『キトラ古墳壁画フォトマップ資料』

2004年、キトラ古墳石室内の調査に先立ち、壁画の正確な図面と写真を作成するため、フォトマップ撮影をおこないました。フォトマップとは、撮影したデータを解析・合成することにより、計測対象物に接触せず正確な図面と画像を得る方法です。写真室では初めておこなう手法であったため、撮影までは試行錯誤の連続で、撮影に入ってからさまざまなトラブルに見舞われました。最終的な撮影総数は、計測用写真等も含めると1,200カットを越えます。そのかいもあり出来上がったフォトマップは1mで±3mmというきわめて精度の高いものになりました。また、この成果が2006年におこなった高松塚古墳におけるフォトマップ撮影にも大いに活かされ、さらに高精度なデータを得ることもつなりました。

この度、高松塚古墳に続きキトラ古墳においてもその成果を知っていただくために、『キトラ古墳壁画フォトマップ資料』（奈良文化財研究所史料第86冊）を刊行しました。高松塚古墳でも好評を得たブルーレイハイビジョン動画（映像時間17分）もあわせて作成しており、ナレーションは日本語以外に英語・中国語・韓国語で聞くことができます。図版に載せている各壁画は一部を除きフォトマップデータを基にしているため、歪みのない正確な形をしています。詳細な観察がおこなえるように実寸での掲載にこだわり、星宿にいたっては約84×74cmの用紙に印刷し、巻末折り込みにしています。是非一度開いていただき、壁画の実際の大きさを体感してください。（企画調整部 岡田 愛）



キトラ古墳壁画フォトマップ資料